

平成 27 年度国地方創生先行型交付金活用事業の評価について

1 国地方創生先行型交付金とは

- ・地方公共団体による地方版総合戦略の策定と、これに関する優良施策等の実施に対し国が支援するもので、菊川市は平成 27 年度に 7 事業を実施した。(補助率 100%)
- ・菊川市総合計画策定委員会において、この 7 事業について評価をしていただく。

2 交付金活用事業の事業評価について

(1)「事業評価書」について

- ・交付金を活用した 7 事業について、各担当部署において、平成 27 年度事業実績を成果指標等により評価したもの。
- ・議論していただいた内容については、今年度以降の事業実施に活かしていく。
- ・評価の方法自体についてもご議論いただいた内容を基に改善を図る。

3 菊川市の地方創生先行型交付金事業一覧

No	事業名	交付金 充当経費(円)	事業 開始年月	事業 完了年月	備考	所管課
1	地方人口ビジョン及び 地方版総合戦略策定事業	4,406,400	H27.3	H28.3	基礎交付分	企画政策課
2	新生児出産祝金事業	20,937,208	H27.3	H28.3	基礎交付分	福祉課
3	茶交流体験促進事業	1,500,000	H27.3	H28.3	基礎交付分	茶業振興課
4	出会い・結婚サポート事業	1,598,400	H27.7	H28.3	基礎交付分	企画政策課
5	魅力発信事業	1,830,168	H27.10	H28.3	タイプⅡ	企画政策課※
6	子育て支援サイト作成業務	723,600	H27.10	H28.3	タイプⅡ	秘書広報課
7	TVコマーシャルを活用した 「元気・魅力」発信事業	1,998,000	H27.10	H28.3	タイプⅡ	秘書広報課
合 計		32,993,776				

※平成 28 年度からは秘書広報課が担当

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
1	地方人口ビジョン及び地方版総合戦略策定事業	企画政策課

1 事業内容

総合戦略上の 位置付け	基本目標	—				
	基本施策	—				
事業目的	「元気！菊川市」を理想とし、子育て支援・子育て環境が充実した本市の特性を活かす。更には、交流人口の増加を足掛かりとした地域の活性化、定住人口の増加という好循環を生み出す。					
事業内容	上記目的を達成するため、「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。策定に際し、民間企業へ基礎的事項の調査・分析業を委託する。					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	人口ビジョン及び総合戦略の策定	総合戦略の推進	総合戦略の推進	総合戦略の推進	総合戦略の推進
	実績	人口ビジョン及び総合戦略の策定完了				
		S				
H27 事業実施内容		菊川市人口ビジョン及び菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成 27 年 10 月 30 日に策定した。策定経緯は以下の通り。 (1)策定組織について 策定は、市幹部職員で構成される「菊川市庁内策定委員会」及び、産官学のメンバーで構成される「菊川市総合戦略審議会」で行った。また、金融、労働団体、メディアからは個別に意見交換を実施した。 (2)策定支援業務委託について 総合戦略の策定にあたり、地方創生先行型交付金を活用し、(株)ランドブレインに人口ビジョン及び総合戦略の策定支援業務を委託した。 (3)その他団体との意見交換について 総合戦略の策定にあたり、市民ヒアリング(5 回)及びパブリックコメントを実施し、広く市民の意見を反映した。また、市議会との意見交換も実施(3 回)した。 (4)その他 インターネットアンケートを実施し、菊川市の県内他地域及び大都市圏における認知度を調査した。				

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
菊川市人口ビジョン 及び菊川市まち・ひと・しごと創生総合 戦略の策定	—	目標	ビジョン 及び戦略 の策定	総合戦略 の推進	総合戦略 の推進	総合戦略 の推進	総合戦略 の推進
		実績	策定完了	—	—	—	—
			S	—	—	—	—

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	平成 27 年 10 月 30 日に菊川市人口ビジョン及び菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。
事業実施内容の分析・評価	菊川市の強みである子育て・教育環境の充実や、産業振興に向けた支援策など、従来の事業を拡充する施策に加え、菊川駅北側エリアのまちづくり構想策定や、市の課題である若年層の流出抑制にむけたふるさと教育、菊川型農業モデルの創出など新たな視点での施策も盛り込むことができた。
今後の事業の方向性	平成 28 年度からが各事業の本格開始となるため、各重要業績評価指数を達成するため、各事業の進捗管理を実施する。

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
2	新生児出産祝金事業	福祉課

1 事業内容

総合戦略上の 位置付け	基本目標	1 抜群な子育て環境で家庭が幸せに暮らせるまち				
	基本施策	1 子育て・教育環境の更なる充実				
事業目的	菊川市の次世代を担う子供の誕生を祝うとともに、将来の健やかな成長を推進するため、出産祝金を支給する。 菊川市の合計特殊出生率 1.66(H24)を向上させるために、特に第 2 子以降の出産を促す。					
事業内容	当市で生まれた第2子以降の新生児に対し、出産祝金を支給する。ただし出産時点で6月以上菊川市に居住している必要があり、また今後5年間今日中する誓約書を提出した場合のみ支給される。(返還義務あり) 第2子：100,000 円 第3子：150,000 円 第4子：200,000 円 第5子以降：300,000 円					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	実施	実施	実施	実施	実施
	実績	支給数 175 件				
A						
H27 事業実施内容	国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用し、平成 27 年度から運用を開始した。(支給件数：175 件 支給額：20,700,000 円) また事業のPRを行った。 支給率は 77.4%(支給件数 175/2 子以降の出生数 226)であった。 ※支給対象となるのは菊川市に 6 か月以上居住している世帯に生まれた 2 子以降の子で、支給を受けるには今後5年間菊川市に定住する旨の宣言書を提出する必要がある。(返還義務あり)					

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
第2子以降の 出生数	221 人 (H26)	目標	218 人	218 人	218 人	218 人	218 人
		実績	225 人				
			S				

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	総合戦略のKPIとして「第2子以降の出生数5年で1,090人(218人/年)」となっており、平成27年度は目標を8人上回った。
事業実施内容の分析・評価	本事業を出生率の向上や本市への定住促進につなげるために、支給対象の条件について、現状のままでよいのか検討をする必要がある。 支給を受けた方が5年以内に転出した場合には返還義務が発生するため、被支給者について追跡調査を行う必要がある。
今後の事業の方向性	本事業を継続実施する中で、支給対象の条件について検討する。また、受給者の追跡調査を実施する。

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
3	茶交流体験促進事業	茶業振興課

1 事業内容

総合戦略上の 位置付け	基本目標	1 抜群な子育て環境で家庭が幸せに暮らせるまち				
	基本施策	2 都市拠点の強化とプライスレスな体験のあるまち				
事業目的	都市部で生活する方を招き、世界農業遺産に認定された「茶草場」や、「棚田」などの豊かな自然景観や住環境の中で、茶摘や米・野菜作りなどの農作業を体験していただくとともに、菊川ブランドなどの市の特産品・名産品を紹介するツアー事業を実施することで、知名度向上及び交流人口・定住人口の増加につなげる。					
事業内容	市で従来実施していたグリーンツーリズム事業を拡充し、茶や野菜等の各生産者と行政が協同して企画・運営を行う交流体験事業を実施し、菊川茶や市内特産物の PR と交流人口の増加を図る。					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施
	実績	9 企画中 6 事業実施				
		A				
H27 事業実施内容	茶摘み、手揉み体験、茶工場見学、お茶の淹れ方教室、とうもろこしやレタスなどの野菜収穫体験などお茶を含む農業体験事業を 9 事業計画し年 6 回実施した。 昨年度までは市が主催となり、ツアー会社と連携して集客し、生産者はおもてなしを実施していたが、平成 27 年度より受け入れる生産者や団体と共に企画、運営、集客方法などを検討し実施した。 自由参加の事業についてはアンケートを実施し、市外来場者を把握した。					

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
市外からの 来場者数	—	目標	500 人	550 人	600 人	650 人	700 人
		実績	486 人				
			B				

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	目標値を若干下回った。平成 28 年度以降目標値が上昇していくため、更なる集客が見込めるよう企画していく必要がある。
事業実施内容の分析・評価	①事業を実施する生産者及び団体の発掘、育成 生産者は集客や販路を拡大することが不慣れである。しかし、これからは自らが企画、運営し販路拡大が図れるため、実施団体の発掘や育成が必要である。 ②実施可能な企画作成 計画した 9 事業のうち 3 事業は集客が見込めないとのことでツアーを開催することができなかった。今後はツアー実施可能な企画提案を進めるか、またはツアー会社を通さず、自らが集客できるよう広報活動が必要である。
今後の事業の方向性	①年 6 回事業を実施する。 お茶を使った体験を 5 回、その他野菜を使った体験を 1 回予定。前年度の拡充事業が 3 つ、新規企画を 3 つ。基本的にはツアー会社を通さずに実施する予定。 ②企画運営できる生産者及び団体の発掘、育成を図るため、生産者へ事業説明をし事業を展開する。 ③年間シリーズ化できる事業が実施可能か生産者等と協議する。

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
4	出会い・結婚サポート事業	企画政策課

1 事業内容

総合戦略上の	基本目標	2 賢沢な自然環境「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち				
位置付け	基本施策	2 「働く場」と「出会い」があるまち				
事業目的	定住及び少子化対策の第一段階である結婚への支援を実施することで、婚姻数及び出生数の上昇を目的とする。					
事業内容	定住及び少子化対策の第一段階である結婚への支援を目的とする婚活パーティーを実施する。					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施
	実績	企画・実施				
		A				
H27 事業実施内容		平成 27 年 11 月 23 日に「アエルで出逢える 恋仲パーティー」を開催した。 第1部（30 歳代・40 歳代・50 歳代）、第2部（20 歳代・30 歳代）の2部構成で開催し、計 89 名の参加があった。内容はパーソナリティーとして落語家の立川晴の輔師匠を招き、グルーブトーク、フリートーク、交流ゲーム等で参加者の交流を図り、第1部・第2部合わせて 10 組のカップルがマッチングした。 その後の追跡調査（平成 28 年 2 月）の結果、マッチングした 10 組の内、正式にお付き合いをしているカップルが3組、連絡を取っている程度のカップルが1組、全く連絡を取っていないカップルが5組、お付き合いしたが別れたカップルが1組という結果となった。				

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
マッチングした カップル数	—	目標	6 組	6 組	6 組	6 組	6 組
		実績	10 組				
			S				

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	目標値を上回った。マッチング後について事後フォロー等を実施し、婚姻数、出生数の増加に結び付けていく。
事業実施内容の分析・評価	マッチングしたカップル数は目標6組に対して10組と目標をクリアし、婚姻数の増加につながる成果があったと考える。一方で、追跡調査の結果、マッチングしたカップルで正式にお付き合いしているカップルは3組となっており（平成28年2月現在）、基本施策の指標である婚姻数を増加させるためには、マッチングしたカップルに長くお付き合いしてもらえるような新たな取り組みをしていく必要がある。 また、菊川市として、例年同時期に婚活支援イベントを継続的に開催することで、「出会いがあるまち」のイメージ定着を図っていきたい。
今後の事業の方向性	昨年度に引き続き、「アエルで出逢える 恋仲パーティー」を継続開催し、婚活イベントとして事業の定着を図る。課題を踏まえた改善点としては、マッチング後の付き合い方について、マッチングしたカップルにパーソナリティーからアドバイスをする時間を設け、上手く付き合いができるように図り、婚姻数の増加につなげる。

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
5	魅力発信事業	企画政策課※

1 事業内容

※H28 年度からは秘書広報課

総合戦略上の 位置付け	基本目標	1 抜群な子育て環境で家庭が幸せに暮らせるまち				
	基本施策	3 シティプロモーションの実施				
事業目的	菊川市の魅力(自然環境、子育て支援、観光情報等)を照会するための小冊子の作成や、多様な媒体を利用した広報活動を実施し、定住施策・人口減少対策を行う。					
事業内容	様々な手法(ランディングページ、魅力紹介冊子の作成、テーマトレイン等)による菊川市の認知度向上に向けた事業を実施する。					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	ランディングページ作成、小冊子作成、テーマトレイン実施	ポスター作製、小冊子作成、テーマトレイン実施	ポスター作製、小冊子作成、テーマトレイン実施	ポスター作製、小冊子作成、テーマトレイン実施	ポスター作製、小冊子作成、テーマトレイン実施
	実績	ランディングページ作成、小冊子作成、テーマトレイン実施				
		A				
H27 事業実施内容	「しあわせのわきくがわ」をキャッチフレーズに、市外在住の子育て世代をターゲットにした菊川市の魅力をPRした。 ・小冊子の作成及び東名高速道路海老名・浜名湖サービスエリアへの配架(H28.2/1～29) ・テーマトレインの実施(熱海～豊橋間)H28.1/30～2/16 ・市の魅力紹介ページ(ランディングページ)の作成(H28.2 月公開)					

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
魅力紹介ページ (ランディングページ)のアクセス数	—	目標	ページ作成	40,000	60,000	80,000	100,000
		実績	ページ作成 2,379 (2 か月)				
			A				

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	目標通り平成 28 年 2 月からランディングページを開設し、運用を開始した。
事業実施内容の分析・評価	市の実施する事業を市民に周知できていない、また市民に菊川市の魅力を再認識してもらい、市民からの口コミ情報発信を増やす必要があるため、市内へも内容を発信する必要がある。また、ランディングページを閲覧してもらうための情報発信が不足している。
今後の事業の方向性	市の魅力を市内外に向けて発信するため、ポスターを製作し、公民館や公会堂、コンビニで掲出する。テーマトレインについては、実施時期をテレビ CM の放送時期(8月を予定)と合わせ、相乗効果を狙う。

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
6	子育て支援サイト作成業務	秘書広報課

1 事業内容

総合戦略上の 位置付け	基本目標	1 抜群な子育て環境で家庭が幸せに暮らせるまち				
	基本施策	1 子育て・教育環境の更なる充実				
事業目的	様々な子育て支援施策の情報を、子育て世帯が効率的に取得できるようになることで、人口減少対策につなげる。					
事業内容	子育て支援に係る情報をまとめ、効率的に情報を提供できるようにし、子育て世代への情報発信を強化する。					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	ページ作成	ページ運用	ページ運用	ページ運用	ページ運用
	実績	ページ作成・運用開始				
		A				
H27 事業実施内容		市ホームページで菊川市における子育て支援情報を検索しやすいよう、子育て支援情報をまとめた、『菊川ですくすく子育て応援サイト「きくすく」』を作成し平成 28 年 2 月から公開した。 子育て支援関係課の情報をシーン別のカテゴリでまとめ、必要な情報を検索しやすくした。				

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
菊川ですくすく子育て応援サイト 「きくすく」のアクセス数	—	目標	ページ作成	7,000	8,000	9,000	10,000
		実績	ページ作成 2,253 (2 か月)				
			A				

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	目標通り平成 28 年 2 月からページを開設し、運用を開始した。
事業実施内容の分析・評価	各課の情報を充実させ、常に最新の情報を提供できるようにする必要がある。
今後の事業の方向性	子育て支援情報の充実及び子育てアプリとの連携を行う。 子育てアプリの公開にあわせて「きくすく」を再度PRする。

平成 27 年度 国地方創生先行型交付金活用事業評価書

No	事業名	所管課
7	TV コマーシャルを活用した「元気・魅力」発信事業	秘書広報課

1 事業内容

総合戦略上の 位置付け	基本目標	1 抜群な子育て環境で家庭が幸せに暮らせるまち				
	基本施策	3 シティプロモーションの実施				
事業目的	テレビメディアを活用し、菊川市の「元気・魅力」を市内外に発信することで、定住促進施策・人口減少対策を行う。					
事業内容	菊川市の認知度向上のための効果的な広報活動として、TVコマーシャル作成し、放送する。					
事業展開	区分	H27	H28	H29	H30	H31
S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要	計画	CM 作成・放送	放送	放送	放送	放送
	実績	CM 作成・放送				
		A				
H27 事業実施内容		テレビCMを活用した菊川市のPRコマーシャルを平成 28 年 2 月にSBS静岡放送及びテレビ静岡にて全 22 回放送した。 茶畑の風景や菊川駅、東名高速菊川インターチェンジの紹介に加え、多くの市民に参加してもらい、 菊川市の魅力を発信した。				

2 事業評価指標

指標名	初期値	区分	H27	H28	H29	H30	H31
市ホームページの アクセス数	269,373 (H26)	目標	290,000	292,000	294,000	297,000	300,000
		実績	290,335				
			S				

S:目標を上回っている A:ほぼ目標通りである B:目標を下回っている C:事業の見直しが必要

3 事業評価と今後の方向性について

指標の実績評価	平成 27 年度は目標を上回ったが、平成 28 年度以降目標値が上昇していくため、アクセス数を上昇させるための取り組みが必要である。
事業実施内容の分析・評価	放送回数が 22 回のため、CM を見る機会として少ない。限られた予算の中、視聴率の良い番組に合わせた回数設定をする必要がある。
今後の事業の方向性	平成 27 年度に製作した CM（第 1 弾及び第 2 弾）を放送する。製作費をかけず放送費分を増やすことで放送回数を増やす。 CM の放送は県内に限られるため、8 月の帰省時期に合わせた放送を計画する。 CM を放送することで、知名度向上を図り、市ホームページへのアクセス数の増加を目指す。